

令和8年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：北海道

農業委員会名：秩父別町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日R5年7月20日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	11
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	
40代以下	—	1
中立委員	—	1

任期満了年月日R8年7月19日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	—	—	—

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	155	基幹的農業従事者数	321	認定農業者	108
農業経営体数	148	女性	130	基本構想水準到達者	
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	87	認定新規就農者	
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	19
				集落営農経営	
				特定農業団体	
				集落営農組織	
				※農業委員会調べ	

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,800	296				3,090

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

【農業委員会の目標】

※ 農地利用最適化推進委員等の担当区域ごとの目標は別表に記入

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	前年度末の集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	3,090 ha	3,058 ha	98.96 %
課題	高齢化に伴い、担い手農家への集積が増加するため、耕作不便農地及び生産性の低い農地の遊休化を防ぐ必要がある。 農地保有合理化事業への参加や人・農地プランに基づいたスーパーL資金の無利子化や規模拡大加算の活用を図る。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和8年度	集積率	99.0 %
今年度の新規集積面積	現状維持 ha	農地面積(C)	3,090 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,058 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	99.0 %

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0 ha	0 ha	0.0 ha
課題	農業者の高齢化が進み、今後遊休農地が発生する恐れがあるため、農地パトロールや広報等での周知が必要。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者		令和7年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	1	経営体
	0	ha	0	ha	28.6	ha
課題	高齢化に伴い離農農家が増えることから、一経営体における農地面積が大きくなることから、新規参入者の受け入れが必要である。新規参入者を増やすため、町及び農業関係団体と連携し、対策を講ずる必要がある。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和5年度		令和6年度		令和7年度		平均	
	123	ha	293	ha	307	ha	241	ha
新規参入者への貸付について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					24.1	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	12	人
			農地利用最適化推進の人数	0	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
8月	遊休農地の解消	農地パトロールの実施	
12月	農地の集積	情報収集(担い手の農地利用意向の把握 等)	
1月以降	農地の集積	情報収集(タブレットを活用した農地利用意向の把握 等)	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	未定	相談会名	新規就農・農業体験相談
参加者数	1	開催場所	札幌市
相談会の内容	北海道農業へのかかわり方を説明する相談会への参加		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)